

20220411 第130回運輸の日（湘南地区連絡協議会）

場 所 東神トラックステーション
行動者 志田 一宏（日新労働組合）
上田 文華（日新労働組合）
望月 博巳（県連）

11日、晴天に恵まれた行動日になりました。本日の担当は湘南地区連絡協議会！幹事会にて決定した3名にて、『安全への呼びかけ』『時局テーマの調査』を行いました。

本日、月曜日のためか？駐車スペースの空きがなく、駐車待機のトラックも目立ちます。

今日は夏日、気温もどんどん上がり、アイドリングの熱と合わさり、超暑い！急な気温の変化は身体に堪えます。熱中症に注意しながら行動しました。



調査内容は『現在の企業を選んだ決め手！はなんですか？』という設問。前回、同様に ○友人の紹介。 ○近所だったので。 ○求人情報での労働条件 など。

多くの方が、「現在の労働条件に満足してはいないものの、他と比べるといい方なんだと思う」と述べていました。中には、「他所をあまりよく知らないで、こんなもんなのかなあ〜。働く時間と賃金が合わないような気がします。」と応えてくれたドライバーもいました。長距離ドライバーのほとんどは運行手当で賄っているようです。実際の時間に換算すると、もしかしたら損をしているかもしれません。簡単に比較できる物差しがあればいいのですが、体系は様々ですので、やはり相談してほしいです。

【ドライバーさんへのお願い】

気になる例の『爆弾』については、今でも出てくるそうです。なかなか処理出来ずにいた爆弾🧨たち、少しずつ処理をしていくようです。処理には莫大な費用がかかります。自分の『爆弾🧨』は自分で処理しましょう〜。

※爆弾🧨とはペットボトルに何やら得体の知れない液状の物は入っている。



ドライバーの実態を聞かせてくれたドライバーさんと！

【行動者の感想】

2022年4月11日東神トラックステーションにて運輸の日に参加した。今回は運輸労連の組織拡大とともに「現在の会社に入った決め手はなにか？」といった質問を運転手の方々にしていった。回答内容は、様々で「親の会社で働いている」、「職業安定所で探した」、「新聞広告」、「家から近かった」、「運転するのが好きだ」などであった。また長距離輸送の運転手では、「配偶者の実家の近くで探した（下関）」、「地元で仕事を探していた（大分）」などがあった。今回は年度替わりということもあったのか、トラックステーション内のトラックも所定の駐車場所では収まりきらず通路で停車している車も多かった。女性の運転手も若干名いたので話を聞きたかったが、足早に去ってしまった。きっと調査員の人相が悪かったのだろう。ただ、いずれの運転手も休憩場所に苦慮している様子だった。行政の話しでは、高速道路のSAやコンビニ等で食事や休憩ができるようになってきているといったことも聞いたことはあるが、高速道路は無料で乗れるわけではないし、コンビニも長時間の休息では注意をされる。実情としては長時間の休息を行える場というのは実質的にないと考える。社会を支える仕事と言われだしてはきたが、実情としては新規参入障壁が低いことや代替要員の確保が比較的簡易に行えることが要因となり処遇の改善は困難であると思う。しかしながら、話を聞いた運転手の方々から感じられたのは、比較的居住地を移しても同様の仕事があることや給与相場がどの地域でも一定程度あるということが、職業として選択されている理由とを感じる部分もあった。全体的な給与や処遇の底上げを図ることが、今後の安定的な物流網の構築に必要と感じた。企業規模の大小や地域間の特性差はあるが、トラック協会や行政とも協力し物流網の維持発展をしていかなければならないと運輸の日を経験するごとに感じる。特に行政の力なしでは今後の施設維持や一般車との共存はないと考える。

志田 一宏（日新労働組合）

2022年4月11日(月)に開催された運輸の日に参加しました。

前回参加の12月とは打って変わって、日焼けするほど日差しが強く暑い日でした。

随時満車で入れ替わりがあまりありませんでしたが、「現在の会社に入った決めて」をテーマに聞き込みを行いました。

内容は様々でしたが、「前の会社よりも給料が良いから」「知人の紹介」「(新聞の)求人広告」が多くありました。また、若手女性の回答として「給料が下がったが実働時間が短いから」というものがあり、終了時間が明確に定まっていなかったり、長距離の場合自宅へ毎日帰れないといったマイナス点になり得ることを更に考慮していかなければ、20代～30代のドライバーが増えないと改めて感じました。しかし、それらは避けられないものでもあるので、対策の一つとして労働環境を整えることがありと思います。

東神トラックステーションのグーグルの口コミで、止められたらラッキーという意見が多くあったのでなくなればいいなと感じました。

上田 文華（日新労働組合）